

ランチョンセミナー

■ 2026年10月17日(土) 12:40～13:40 | Ⅲ 第4会場

■ [LS1-4] ランチョンセミナー 1-4

座長:田中 賢一(株式会社サッポロドラッグストアー ヘルスケア事業戦略シニアエキスパート)

共催:日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

[LS1-4] 調剤業務の自動化で実現する価値創出と働き方改革 ― 薬局ロボット導入後に見えた現場のリアル ―

中本 健太 (なの花薬局中之島店 ブロック長 (エリアマネージャー))

ランチョンセミナー

2026年10月17日(土) 12:40 ~ 13:40 | 第4会場

[LS1-4] ランチョンセミナー 1-4

座長:田中 賢一(株式会社サッポロドラッグストア ヘルスケア事業戦略シニアエキスパート)

共催:日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

[LS1-4] 調剤業務の自動化で実現する価値創出と働き方改革 ― 薬局ロボット導入後に見えた現場のリアル ―

中本 健太(なの花薬局中之島店 ブロック長(エリアマネージャー))



本講演では、薬局業務における効率化および安全性向上という社会的課題に対し、BD Rowa™システムの導入によって得られる具体的な成果と、その実践事例について紹介する。

近年、外来患者数のピーク到来や人口減少に伴う人手不足が進行する中、薬局に求められる役割は大きく変化している。特に大規模薬局においては、業務の複雑化に加え、雇用対応や人材定着といった課題も顕在化している。一方で現状のオペレーションでは、薬剤師が調剤以外の作業（ピッキングや在庫管理等）に従事せざるを得ず、専門性の発揮が十分とは言えない状況も見受けられる。

本講演では、これらの課題に対してBD Rowa™システムを活用することで、調剤業務の自動化・標準化を実現し、作業負荷の軽減および業務品質の均一化が可能となる点を示す。また、在庫管理の効率化や可視化による業務改善、納品・棚卸時間の短縮といった効果についても解説する。

さらに、スタッフの役割分担の明確化により、薬剤師が本来注力すべき対人業務へ集中できる環境を整備することで、患者待ち時間の短縮やサービス品質の向上につながる点についても述べる。これにより、多様な人材の活躍を促進し、離職防止や持続可能な薬局運営にも寄与することが期待される。さらに、調剤業務の標準化・簡素化が進むことで、身体障がい者の就労機会の創出や、未経験者であっても短期間で現場戦力として活躍できる環境の構築が可能となる点は、今後の薬局運営における重要な価値である。

本講演を通じて、薬局業務の機械化・高度化による「薬局の進化」と、それに伴う「薬剤師の価値向上」について考察し、今後の薬局の在り方を展望する機会としたい。

<学歴>

2019年3月 大阪医科薬科大学薬学部卒業

<職歴>

2019年4月 株式会社なの花西日本入社

2023年7月 なの花薬局中之島店薬局長就任

2026年4月 ブロック長(エリアマネージャー) 就任